

2022年度(評価対象期間: 2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 各年次の履修要項作成の際、学科主任が健康栄養学科の開設時に作成された4項目の教育目標の確認を行い、変更がある場合には学科会議で検討することになっている。2018年度には全学的に見直しを行い、2019年4月、「人材の養成・教育研究上の目的」を定めた。同目的は、現代の社会に貢献する管理栄養士を育成する本学科にとって適切な内容である。				
(2) 健康栄養学科は食と健康の専門家である栄養士・管理栄養士の人材育成を目的としている。この職種は実務職であることから、大学の理念である「行学一体、報恩感謝」が学科の目的と一致している。したがって、カリキュラムポリシーの第1項に「建学の精神「行学一体、報恩感謝」に立脚した職業倫理の育成をする」ことが掲げられている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康栄養学科「人材の養成・教育研究上の目的」(心身科学部履修要項 p.31)				
健康栄養学科「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」(心身科学部履修要項 p.33)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)心身科学部健康栄養学科の人材育成その他の教育研究上の目的は、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示されている。				
(2)健康栄養学科の「人材の養成・教育研究上の目的」は、大学ホームページ及び「履修要項」に掲載し、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表されている。また、入学時および各学年の春学期と秋学期のオリエンテーションの際、学年担当の教員が履修要項に基づいて教育目的の説明をしている。特に、3年次の学外実習(栄養士・管理栄養士の臨地実習Ⅰ～Ⅳ)、4年次の就職活動にあたって、学生に再認識の教育を行っている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」(組織内資料)				
健康栄養学科「人材の養成・教育研究上の目的」(心身科学部履修要項 p.31)				
愛知学院大学HP「人材の養成・教育研究上の目的」(ウェブサイト https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/)				
健康栄養学科HP「人材育成・教育研究上の目的」(ウェブサイト http://psyphy.agu.ac.jp/eiyo/about/features/index.html)				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準1」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(4)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。 ※各学部・研究科の自己点検・自己評価委員会等の年2回以上の開催及び委員会での取り組み内容について具体的に記載してください。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (4) 栄養士・管理栄養士養成校は厚生労働省または愛知県の監査があるため、学生の出席状況、授業内容、教員資格等について、実地審査もしくは自己評価を毎年行うことになっている。特に、管理栄養士養成については国家試験があるので、教育内容については毎月学科会議で検討が行われ、主として科目分野別の点検と改善が行われている。原則、毎月1回開催される学科会議において、課題となる事項を議題として取り上げ、教員間で検討をし、決定事項に関しては学科議事録に記載し、改善に取り組んでいる。以上のように、内部質保証体制を確立している。また、2019年度より、学科会議での検討内容を心身科学部自己点検・自己評価委員会に集約しており、内部質保証体制を構築している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康栄養学科学科会議議事録				
心身科学部自己点検・自己評価委員会議事録				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
③	管理栄養士国家試験に合格するためには、学生の学力を引き上げる教員の個別対応が不可欠である。しかし、現状では教育支援に関する組織としての対応(人的、財政的)が不十分である。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
③	財政的支援として、3年前から愛知学院大学後援会からの費用の一部を国家試験対策の特別講義(業者が主催する講座)、国家試験対策模試費用に当てている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名
健康栄養学科割り当て分の2021年度愛知学院大学後援会費の会計簿(組織内資料)

5. 「基準2」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。 A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1)学位授与に関する規程は学則第37条に基づいて定められており、健康栄養学科では、学位授与方針に学生が修得することが求められる学習成果を明示し、大学ホームページ及び履修要項に掲載し公表している。また、各学年におけるオリエンテーション時に説明をしている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
愛知学院大学HP「教育理念・各種方針」(ウェブサイト https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/)				
健康栄養学科「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」(心身科学部履修要項 p.32)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)健康栄養学科では、ディプロマ・ポリシーを踏まえカリキュラム・ポリシーを設定し、大学ホームページ及び履修要項に掲載し、公表している。方針には厚生労働省の栄養士法施行規則と管理栄養士国家試験ガイドライン、および日本栄養改善学会の管理栄養士課程コアカリキュラムに準じた教育課程の体系、教育内容、授業科目区分等を明示している。				
(2)人材の養成・教育研究上の目的と学位授与方針、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)は連動させた内容となっている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
健康栄養学科「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」(心身科学部履修要項 p.33)				
厚生労働省HP「栄養士法施行規則」(ウェブサイト https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=323M40000100002)				
厚生労働省HP「管理栄養士国家試験出題基準(ガイドライン)改定検討会 報告書」(ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000158814_00001.html)				
日本栄養改善学会HP「管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム」(ウェブサイト http://jsnd.jp/modelcore.html)				
愛知学院大学HP「教育理念・各種方針」(ウェブサイト https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 ＜学士課程＞ 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 ＜修士課程、博士課程＞ コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(6)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)健康栄養学科では、1～2年次に専門基礎科目群、3年次に専門科目群、4年次に総合科目群の講義・演習・実験・実習を開講しており、教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)と教育課程の整合性が適切にとられている。				
(2)専門科目については、栄養士法施行規則に基づいて栄養士資格、管理栄養士資格を取得する必要があるため、規則に準じて体系化されている。教養科目については、専門教科の基礎となる生物学、化学は必修とし、有機化学、分析化学は選択科目とするなど、学生の自由度を高くしている。また、教養科目は主として1年次、専門性を身に付けたうえで総合力を伸ばすための科目は4年次に開講するなど、順次性も学科会議において検討している。				
(3)個々の授業科目の内容及び方法については、カリキュラムポリシーを踏まえてシラバスが作成されている。カリキュラムポリシー④「グローバルな視点に立って総合的、複眼的に考え、EBN(Evidence Based Nutrition)に基づいて問題解決できる力の育成をする」では、例として、1年次春学期に健康栄養学入門を開講し、導入教育として主要な専門10科目の概要をオムニバス形式で講義した後、学生が自ら健康と食に関わる課題をテーマとして取り上げ、調べ学習、まとめ学習、プレゼンテーションを行う授業を行っている。				
(4)初年次教育として「健康栄養学入門」を開講し、専任教員10名による健康栄養学のミニ講話を行っている。また、アドバイザー教員ごとに新入生約8人が専門教育に関する課題に対する調べ学習、まとめ学習、発表の授業形式により導入教育を行っている。				
(6)健康栄養学科の臨地実習係(担当4名)が栄養士法施行規則の校外実習・臨地実習の規則に基づいて、必修1単位、選択3単位の学外実習を3～4年次に実施している。実習先施設は事業所、病院、福祉施設等である。内容はそれぞれの施設における専門職の実務見習いであり、将来の職業決定の契機となっている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
授業時間外学習の促進:「シラバス」(学内ウェブサイト) 履修登録単位数:「年次別履修計画」(心身科学部履修要項 p.85～89)、「愛知学院大学履修に関する規程」(心身科学部履修要項 p.165～166)				
シラバス:「シラバス」(学内ウェブサイト)、「授業アンケート結果のシラバスの項目」(組織内資料)				
主体的参加を促す授業:「授業アンケート結果の学生の主体的参加の項目」(組織内資料)				
授業学生数および履修指導:「授業毎の出席簿」、「各学期のオリエンテーション資料」(組織内資料) 厚生労働省HP「栄養士法施行規則」(ウェブサイト https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=323M40000100002)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。 また、授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 ＜学士課程＞ ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 ＜修士課程、博士課程＞ ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)時間外学習の促進:シラバスには予習、復習内容を明記し、学生の学習時間の実質化を図っている。予習あるいは復習の成果をみるために、小テストや発表を行うなどの工夫がされている。 履修登録単位数:履修に関する規定に基づき、1年間の単位の上限は48単位としている。栄養士・管理栄養士は実験実習が多いので、単位数は少なくとも時間数が多くなる。したがって、講義科目と演習・実験・実習が特定の学年に偏らないように科目開設をしている。 (2)シラバスに記載する内容は、大学全体の基準が教務委員会で決められている。科目ごとの授業テーマ、授業概要、授業の到達目標、授業計画(時間内と時間外学習)、評価方法・基準等が記載され、公表されている。その内容について、毎年、学科主任が健康栄養学科が開設する全ての科目の点検を行い、不適切なシラバスについては修正が行われている。その上、学科会議においてシラバスの記載に関する確認が行われ、検討がされている。特に、健康栄養学科は栄養士・管理栄養士養成課程があるため、シラバスについても厚生労働省の監査があるので、年慎重にチェックしている。シラバスと授業内容の整合性については、学生による授業評価に項目が設定されており、80～90%がシラバス通りであると評価している。 (3)演習・実験・実習では4～5名のグループで授業が展開されており、主体的に取り組むべき課題のデータ収集やまとめ、その発表などにより授業内容が構成されている。しかし、講義科目は座学になりやすいので、授業全体としては、主体的参加に関する授業の工夫が必要である。 (4)授業当たりの学生数は栄養士法施行規則により40名と定められている。一部、授業内容により80名で行っている科目があるが、健康栄養学科で開講されている科目の80%以上が40名単位で行われている。 履修指導は学期毎のオリエンテーションで全体指導とアドバイザーごとの少人数指導により実施している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
授業時間外学習の促進:「シラバス」(学内ウェブサイト)				
履修登録単位数:「年次別履修計画」(心身科学部履修要項 p.85～89)、「愛知学院大学履修に関する規程」(心身科学部履修要項 p.165～166)				
シラバス:「シラバス」(学内ウェブサイト)、「授業アンケート結果のシラバスの項目」(組織内資料)				
主体的参加を促す授業:「授業アンケート結果の学生の主体的参加の項目」(組織内資料)				
授業学生数および履修指導:「授業毎の出席簿」、「各学期のオリエンテーション資料」(組織内資料)				
厚生労働省HP「栄養士法施行規則」(ウェブサイト https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=323M40000100002)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。 また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性、公正性、公平性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(5)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示し、公表していますか。	
		(6)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。 学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(7)	適切に学位授与を行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)「愛知学院大学の単位認定及び成績評価に関するガイドライン」(代表教授会決定)にしたがって認定されている。また、既修得単位の認定については履修要項に明示されており、適切に認定している。				
(2)成績評価は科目担当教員に委ねられている。健康栄養学科は管理栄養士国家試験の合格ラインである60点を基準として科目別の難易度と照らし合わせて実施している。9分野の中には国家試験レベルの到達が難しい科目もあるので、D評価の場合には再受講を行っている。シラバスには評価基準が明記されているが、教員によりA評価が多かったりD評価が多いなどのばらつきがみられたため、2020年4月1日、全学的に「愛知学院大学の単位認定及び成績評価に関するガイドライン」を施行し、成績評価の厳格化を図っている。				
(3)卒業要件は学則第8条に明示されている。健康栄養学科では、栄養士養成課程の科目群は卒業必修科目、管理栄養士養成課程の科目分は資格必修科目としており、資格のために指定科目が多いことが特徴となっている。				
(5)				
(6)学位授与の客観性、厳格性を確保するため、「愛知学院大学学位記授与に関する規程」に卒業の認定は各学部の議を経て代表教授会で行うことを明示している。				
(7)「愛知学院大学学位記授与に関する規程」を遵守して認定している。まず、学科会議で学位授与について検討し、学部教授会、代表教授会を経て学位授与が決定している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
単位制度の趣旨に基づく単位認定:「年次別履修計画」(心身科学部履修要項 p.85～89、p.165～166)				
成績評価:「成績評価に関するガイドライン」(組織内資料)				
成績評価の客観性、厳格性:「厚生労働省 栄養士法施行規則」、「管理栄養士国家試験ガイドライン」				
履修に関する規則:「愛知学院大学履修に関する規定 第9条」(心身科学部履修要項 p.165～166)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学習成果の測定は、4年次の総合科目において春学期と秋学期の成績評価の折に管理栄養士国家試験の9分野別の得点率を算出し、学科会議で報告の上、授業対策の資料として活用している。 点検・評価に基づいて、「管理栄養士総合基礎演習」、「管理栄養士総合応用・臨床演習」では専門9分野のオムニバス授業回数について重点配分を行うなどの改善に繋げている。それを、心身科学部自己点検・自己評価委員会(心身科学部教授会を含む)で教育課程及びその内容、方法が適切であるかどうかを点検・評価している。				
(2) 確実な実力をつけるために、成績不良学生に対して面談を行い、学習における課題の抽出やアドバイスをを行うなどの改善の取り組みを行っている。さらに、心身科学部自己点検・自己評価委員会(心身科学部教授会を含む)で改善・向上の取り組みについて審議・決定している。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
学習成果の測定:「国家試験模試の結果と評価」(組織内資料)				
改善・向上に向けた取り組み:「管理栄養士総合基礎演習」、「管理栄養士総合応用・臨床演習」の授業回数と内容(組織内資料)				
心身科学部教授会議事録(組織内資料)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学習成果の測定は、4年次の総合科目において春学期と秋学期の成績評価の折に管理栄養士国家試験の9分野別の得点率を算出し、学科会議で報告の上、授業対策の資料として活用している。 点検・評価に基づいて、「管理栄養士総合基礎演習」、「管理栄養士総合応用・臨床演習」では専門9分野のオムニバス授業回数について重点配分を行うなどの改善に繋げている。それを、心身科学部自己点検・自己評価委員会(心身科学部教授会を含む)で教育課程及びその内容、方法が適切であるかどうかを点検・評価している。				
(2) 確実な実力をつけるために、成績不良学生に対して面談を行い、学習における課題の抽出やアドバイスをを行うなどの改善の取り組みを行っている。さらに、心身科学部自己点検・自己評価委員会(心身科学部教授会を含む)で改善・向上の取り組みについて審議・決定している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
学習成果の測定:「国家試験模試の結果と評価」(組織内資料)				
改善・向上に向けた取り組み:「管理栄養士総合基礎演習」、「管理栄養士総合応用・臨床演習」の授業回数と内容(組織内資料)				
心身科学部教授会議事録(組織内資料)				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし
たうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	健康栄養学科の4年間の教育成果として専門性の実践能力を高めることを目的とした「健康栄養総合演習」を4年次に開講していることが特徴である。開設当初は本学歯学部附属病院における外来患者を対象とした実地実習であった。現在はこれに加え、4年前から藤田医科大学を中心とする「地域を支える人材育成プラットフォーム」の協定に基づき、多職種連携による地域包括ケア推進のためのアセンブリー講座への参加もできる。専門職種に対する自覚と自信を高める契機となっている。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
健康栄養総合演習における講義内容と成果:「シラバス」(学内ウェブサイト)	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、
記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を
記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 健康栄養学科のアドミッションポリシーは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーおよび大学のアドミッションポリシーを踏まえて、学科会議において検討し、学科独自の方針を決定し、学部教授会で承認の上、ホームページ及び入試要項で公表している。 (2) 学生受け入れ方針 ①入学前の求める学生像:健康栄養学科は専門科目を学ぶための基礎知識として、生物学、化学が必要となるため、その旨をアドミッション・ポリシーに明示している。したがって、学科入試による選抜では、多様な人材を広く受け入れるために、理科を必須とする方式と選択しなくても良い方式を設定しているが、後者の場合には高校での科目履修・認定が必須となっている。また、面接試験がある場合には、学ぶ意欲が高い人材を公平に受け入れるようにしている。②入学希望者に求める水準の判定方法:大学全体として多様な人材を幅広く求める趣旨から、入試方法も選択肢を多くしている。健康栄養学科では高大接続型入試(事前体験型)として、アドミッション・ポリシーに応じた総合型選抜を実施している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
愛知学院大学HP「アドミッション・ポリシー」(ウェブサイト https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/)				
愛知学院大学HP「入試要項」(ウェブサイト https://navi.agu.ac.jp/examination/)				

基準5. 学生の受け入れ

組織名 健康栄養学科

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(3)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(4)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)健康栄養学科の募集人員は80名と少人数であること、国家試験合格レベルの学力と意欲が必須となることから、アドミッション・ポリシーに基づき入試選抜方式別に人員を設定しており、理系科目方式やセンター入試方式による募集割合を高くしている。				
(3)愛知学院大学入学試験委員会規程に基づき、代表教授会の下に入学試験委員会を置き、入学試験委員会において入学者選抜を実施している。健康栄養学科では学科主任が入試委員のメンバーとなっており、選抜実施に関する報告、連絡等を密に行っている。				
(4)入学者選抜の公正さを担保するために、情報漏洩(試験問題の管理、入試資料の持ち出し禁止など)に関する規則、入試業務担当者に対するガバナンスが構築されている。				
(5)身体障がい者、特別な配慮(喘息、ADHD(注意欠陥・多動性障害)など)を希望する受験者には、審査の上で特別室での受験を行うなどの配慮がされている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
愛知学院大学HP「入試要項」(ウェブサイト https://navi.agu.ac.jp/examination/)				

基準5. 学生の受け入れ

組織名

健康栄養学科

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) ①入学者数比率:健康栄養学科の開設当初は歩留まり等のデータが無いため1.1～1.2倍の定員超過があり、その後1.05倍以下の入学定員に落ち着いたが、2022年度は1.1倍の超過定員に戻った。 ②編入者数比率:健康栄養学科は栄養士・管理栄養士養成校であるため、収容定員(320名)を下回った場合のみ編入が認められている。また、編入をしても専門必須科目数が多いために2年間での卒業が難しいなどの理由で編入希望者は開設以来、皆無である。 ③収容定員に対する在籍学生数比率:在籍学生数は収容定員の1.05倍以下となっている。 ④在籍者過剰に関する対応:在籍者過剰によって学習効果に不利益が生じないように、実験・実習は助手を2名配置としている。また、教室は黒板やスクリーンの映像が見やすいこと、マイクがあることなどを配慮して割り当てられている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
愛知学院大学HP 教育情報の公開 「入学者数等」、「収容定員及び在籍学生数」 (ウェブ https://www.agu.ac.jp/guide/data/education.html)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 栄養士・管理栄養士養成校は厚生労働省の監査項目として、入試資料等があげられている。特に入学定員を上回った場合には、今後の選抜方法の改善が求められるので、入学選抜試験回数を減らすなどの見直しなどの検討を行っている。				
(2) 各年度の入学選抜試験が終了する3月末に、問題を明確化し、その改善に向けた会議を開催している。健康栄養学科からは、入試委員が代表として参加している。また、改善すべき課題については入試小委員会が設けられており、具体的な改善策について受験者の不利益にならないように慎重に検討が行われている。				
【根拠資料名】上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
入試委員会 委員会資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
5-② 学生の受け入れ方針	健康栄養学科では、食と健康の専門家である医療人の育成を目的としている。医療系管理栄養士をめざす高校生を対象に、新型コロナウイルスの影響以前は本学歯学部附属病院において病院ツアーを年に1回開催していた。附属病院の管理栄養士、健康栄養学科の医師、臨床栄養学担当の管理栄養士などが協働して病院の管理栄養士の業務の実際を体験する内容となっている。病院ツアーに参加し、本学に入学した学生は、卒業後に医療系職種（病院、福祉施設、薬局など）で活躍しており、学生の受け入れ方針と合致した成果の例としてあげられる。また、定期的に同法人の附属高校である愛知高校や愛知県立惟信高校で大学見学ツアーの中で模擬授業を行っている。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既の実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(2)	各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (2)健康栄養学科では2019年度に、愛知学院大学の教員組織の編制方針を前提とした学科独自の教員組織の編制方針を策定した。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
心身科学部健康栄養学科 教員組織の編制方針				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	B
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	B
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教員組織の編制に関する方針と教員組織の整合性 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	B
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	B

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1) 管理栄養士学校指定規則では、専任教員10名は専門基礎科目分野では医師を含む3名以上、専門分野では管理栄養士4名を含む5名以上であること、助手5名のうち3名以上が管理栄養士であることが規定されており、その最低基準を満たした教員構成である。必修科目を非常勤講師に担当させていることについて、厚労省の監査で専任教員が担当することが望ましいと指摘があった。

(2) 管理栄養士学校指定規則及び大学設置基準で定められた専任教員を確保するために、計画的に募集・採用を行っている。実際、2021年度は1名の専任教員を採用している。また、学科会議で議論し、作成した「教員資格審査評価票(健康栄養学科 内部基準)」に基づき、この基準を満たす教員には積極的な昇任への働きかけを行っている。

(3) 本学科の教員数は栄養士法および管理栄養士学校指定規則に定められた最低人数となっており、必修科目にも非常勤講師を配置しているが、教育内容の充実をはかるため専任教員の増員が必要と考える。専任教員の男女比が1:5であり女性教員が多いことが学生支援に対する特徴となっている。年齢構成は60歳以上が過半数を占めていたが、2020年度、2021年度の採用にあたっては年齢構成の若返りを図ることができたため、今後、新たな教育の創出と活性化をはかることが期待される。

(4) 教養教育は教養部が主となって行っているが、特に専門教育に繋がる基礎専門教科として化学・生物学などは、教科内容について教養部との連携体制をとっている。厚生労働省により管理栄養士国家試験出題基準(ガイドライン)が示されているので、専任教員が専門教育9分野の教育内容について調整する連携体制をとっている。また、管理栄養士国家試験模擬試験では専門9分野別に得点率が示されるので、教育効果が客観的データとして明示される。ただし、本学科では管理栄養士に焦点化せず栄養と健康に関する幅広い専門性を身に付けることを教育目標としているので、教育のあり方については学科会議で議論されている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

心身科学部の教員組織一覧(大学基礎データ)

「教員資格審査評価票(健康栄養学科 内部基準)」(組織内資料)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1) 栄養士法および管理栄養士学校指定規則に基づき、学科会議で議論し作成した「教員資格審査評価票(健康栄養学科 内部基準)」を使用している。

(2) 栄養士法および管理栄養士学校指定規則に基づき、学科会議で議論し作成した「教員資格審査評価票(健康栄養学科 内部基準)」を使用している。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

健康栄養学科学科会議議事録

「教員資格審査評価票(健康栄養学科 内部基準)」(組織内資料)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	B
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	B
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 大学のFD委員会によるFD活動に参加している。本学科の授業参観の実施、他学科・他学部と共同してテーマを決め意見交換・討論を行うこともある。				
(2) 各教員は、教員業績システムに毎年度、教育・研究・社会貢献等について目標・計画及び自己評価を入力しており、教育・研究・社会活動の活性化に役立てている。また、学科ごとの結果を閲覧できる旨学部教授会で周知されている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
FD委員会議事録				
心身科学部教授会議事録				
健康栄養学科学科会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 栄養士法および管理栄養士学校指定規則に基づき、学科会議において時間割作成時に教員の担当科目・授業時間などの点検を行っている。				
(2) 年齢構成を点検したところ近年、60歳以上の教員が半数近くを占めていたため、採用人事にあたっては年齢構成の若返りにより教育の創出と活性化を図っている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準6」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2022年度(評価対象期間:2022年4月～2023年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。 地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)地域交流:健康栄養学科は栄養士・管理栄養士の実務者養成を目的とする学科であることから、地域連携活動は積極的に行っている。大学組織として社会連携センターが設置されており、活動状況の把握、活動の公表、予算措置などがとられているので、社会連携センターに活動報告を行っている。 国際交流:管理栄養士海外研修科目を2年次に選択2単位で開講している(今年度は新型コロナウイルスの影響で中止)。毎年在籍数の約25%の学生が参加し、カリフォルニア大学デービス校において、アメリカの登録栄養士の講義、病院・福祉・学校給食施設やフードマーケットの見学研修などの内容で実施している。				
(2)社会連携・社会貢献活動に関する単位認定制度は無いが、産学共同、官学共同、大学間連携など、さまざまな形態での取り組みが行われている。特に、本学所在地である日進市とは「子ども大学につしん」を開催しており、そのうちの「子ども料理教室」は10年以上継続している(今年度は新型コロナウイルスの影響で中止)。栄養教諭をめざす学生を中心に食育の実践教育の場として、地域連携の成果を上げている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
国際交流:「管理栄養士海外研修記録第1回～第11回」(組織内資料)				
地域連携:「こども料理教室の記録」(組織内資料)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	B
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)社会連携センターによるオンライン 事業である「北海道厚沢部町の農産物でスポーツをする子ども達を応援する」に健康栄養学科の1～4年までが参加し、レシピ開発を行った。この事業は冊子(スポーツ栄養学の講義内容、生産者・厚沢部町役場職員・学生等との交流会(新型コロナの影響で2022年度は中止)、生産者の農産物に関するインタビュー、厚沢部町情報で構成)を作成して、広くスポーツをする子どもやその保護者等に配付するパフォーマンス評価を行う。 子ども料理教室は新型コロナウイルスの影響により今年度の事業は中止したが今後も事業を継続していくことを確認している。 社会連携センターのボランティア報告会は新型コロナウイルス感染予防のために実施されなかったため、健康栄養学科で実施した社会貢献・社会活動は報告書に記載する。				
(2) 社会連携・社会貢献活動の点検・評価(年次報告書)を行った後に、それに基づく改善や向上に向けた組織的な検討をする必要があるが、実施されていないのが現状である。				

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
③-(2) 点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組み	社会連携・社会貢献を統括する社会連携センターがにおいて、年に数回の運営委員会が開催されている。活動報告に留まらず一層の発展のための改善策を検討する必要があるが、活発な運営を行うためには予算、センターの人員などの組織改善が不可欠である。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B